

団体名				
審査項目	審査内容		評価	
事業内容	(1) 事業内容が次の全てを満たしているか	チェック		
	ア 提案者が自ら企画し、実行する内容となっている。			
	イ 当年度内に完了する事業である。			
	ウ 実施要領第3条第2項で定める事業の対象外となる活動でない。			
	エ 大分県森林環境税及び事業の趣旨に合致している。			
	オ 安全対策を講じている。			
	カ 当事業による補助終了後も、自立的な活動を継続できる見込みがある。			
	キ 事業の明確な会計・経理及び文書作成等を行う能力があり、補助事業を適切に実施できる見込みがある。			
	ク 関係法規等を遵守し、活動を実施するうえで必要となる手続き等について理解している。			
	実現性	(2) 実現可能な方法、スケジュール、スタッフ体制が講じられているか。(該当するもの全てを選択)	配点	合計点数
		◇何を、なぜ、どのような方法でやりたいのかが明確である。	3	
		◇事業に見合った適正な経費で積算した根拠があり、かつコストの削減に努めている。	3	
		◇実施予定日及び予備日を適切に計画している。	1	
	波及性	◇活動実施に必要な知識、技術力、運営能力、指導者確保が十分にできている。	2	
		(3) 幅広く県民参加を募っているか。(該当するものを全て選択)	配点	合計点数
		◇活動および参加者見込者数の規模に見合った方法で広報を行っている。	2	
		◇森林や林業に親しみのない人の参加が期待できる方法で広報を行っている。	2	
		(4) 森林を守り育てる意識を醸成するため、事業実施主体以外の団体等との連携や積極的な広報を実施しているか。(該当するもの全てを選択)	配点	合計点数
		◇他団体との連携を図っている。	1	
	独自性	◇事業周知や終了後の活動紹介など、広くPRしようとする姿勢が見られる。	1	
◇大分県森林づくりボランティア支援センターへ森林づくりボランティア団体の登録をしている。または、登録予定がある。		1		
(5) 地域の実情や特性に応じ、創意工夫が見られるか。(該当するもの全てを選択)		配点	合計点数	
◇地域資源や地域特性を積極的に活用している。		3		
継続性・発展性	◇新規性、先進性、創造性が認められる。	3		
	(6) 継続性や発展性が認められる活動であるか。(該当するもの全てを選択)	配点	合計点数	
	◇次年度以降の計画がある。	1		
	◇次年度以降、新たな展開が期待できる。	2		
	◇当事業による補助終了後も継続的・発展的な活動の計画がある。(該当するもの1つを選択)	ある 3 計画予定 0 ない -3		
	◇市町村や自治会、学校等と連携し、地域に根差した活動として継続される可能性が高い。	3		
過去の助成実績	◇提案者は負担金の徴収など、自主財源の確保に努めている。	2		
	(7) 令和3年度以降の過去採択回数(該当するもの1つを選択)	配点	合計点数	
	◇初めて	3		
	◇過去採択1回	2		
	◇過去採択2回	1		
	◇過去採択3回以上	0		
	(9) 令和3年度以降の過去の実績評価(該当するもの全てを選択) ※災害、感染症、社会事情の変化等によるやむを得ない事情による事業の規模縮小は減点の対象外とする。	配点	合計点数	
◇前年度実績において、当初交付決定時から補助金額で3割以上の減額がある。	-2			
◇前年度実績において、計画時から県民参加者数が5割以上の減となっている。	-2			
その他意見等				
審査項目	審査結果			
(1)	満たしている ・ 満たしていない			
(2)～(9) 合計点数	0点			

別紙 2

森林づくり提案事業 評価基準

(1) 初年度（令和3年度以降）から通算して3回目までの提案

審査項目		評価基準
事業の適格性		満たしている
事業内容	実現性	審査員の採点の合計が、 満点の5割以上
	波及性	
	独自性	
	継続・発展性	
過去の助成実績		

(2) 初年度（令和3年度以降）から通算して4回目以降の提案

審査項目		評価基準
事業の適格性		満たしている
事業内容	実現性	審査員の採点の合計が、 満点の5割以上
	波及性	
	独自性	
	継続・発展性	
過去の助成実績		
かつ		
波及性		審査員の採点の合計が、 満点の6割以上
独自性		審査員の採点の合計が、 満点の6割以上
継続・発展性		審査員の採点の合計が、 満点の6割以上
—		児童等を対象とした森林環境教育を目的とした活動で、かつ、毎年異なる参加者が見込まれる。